

導入事例

RAIDストレージ
G-RAID SHUTTLE 4RAIDストレージ
G-RAID 2映像コンテンツ制作の業界最先端で——
トップクリエイターたちが選ぶ高速RAIDストレージ

IMAGICA GROUPにおいてポストプロダクション※事業に特化したサービスを提供するIMAGICA Lab.。同社では、SanDisk Professionalの「G-RAID SHUTTLE 4」(72TB)を16台、また「G-RAID 2」といった製品を導入し、大手配信媒体のオリジナルシリーズ制作のためにフル活用されています。このプロジェクトにおける技術監修として現場を統括し、オンライン編集やVFX、最終仕上げまで幅広く工程を担当されたチーフエディターの小部昌史様、カラリストの酒井有希様に詳しくお伺いしました。

※映像制作における、撮影後の仕上げ作業（主に映像編集や音編集）の総称。ポストプロと略されることもある。

導入商品 ウェスタンデジタル SanDisk Professional

Thunderbolt 3対応
4ベイRAIDストレージ

G-RAID SHUTTLE 4

Thunderbolt 3対応
2ベイRAIDストレージ

G-RAID 2



コンパクトな上に静音。タフに活用する現場ならではのニーズに応える

—— 映像コンテンツ制作の現場で、「G-RAIDシリーズ」はどのように使われているのでしょうか。

小部様：企画、制作を担当するプロダクション（映像制作会社）から届いたオリジナル撮影素材を編集・加工し、コンテンツとして仕上げるまでが当社の業務です。いわゆるポストプロと呼ばれる、撮影完了後のすべての作業ですね。撮影チームから素材を受け取ったら、オリジナルデータをG-RAID SHUTTLE 4に保存して作業にあたります。容量の少ないデータについては、G-RAID 2も活用しています。

—— G-RAID SHUTTLE 4を導入する前はどのような環境で作業されていたのでしょうか。

酒井様：近年、業務で扱うデータの大容量化が著しく、またコンテンツの制作規模やワークフローも大きく変わっています。そのため、データを複数のストレージに分散させて保存し、必要な作業を終えたら次の部署へデータを渡す…と、シームレスに繋いでいく使い方が求められています。

小部様：そうだと、毎回ではありませんが、次の担当者へと筐体を物理的に手渡す必要があるんですね。

酒井様：以前は大きくて重いRAIDを1台ずつ抱えて、ヒヤヒヤしながら運んでいました。ですので、このG-RAID SHUTTLE 4のフォルムを見た時は革命的だと思いましたね。コンパクトだけでなく、取っ手があって持ち運びやすい。角のないフォルムも扱いやすくいいですね。安全に運べるということは、大事なデータをしっかり守るという観点で安心感が違います。

—— ほかに課題になっていたことなどはありますか。

小部様：以前使用していたRAIDストレージは、冷却ファンの音がうるさいのが不満でした。1台だけでも気になるのに、それが数台ともなればかなり気が散ります。特に酒井さんが担当しているカラーグレーディングの作業は、部屋の照明を落とし、モニターをじっくり見ながら世界観を創っていくという、極めてクリエイティブな仕事です。このような集中力が求められる場に、雑音が響いているようでは困ります。

酒井様：たしかに、過去にいくつか音が気になるモデルはありましたね。ファンだけでなく、振動で筐体が共鳴したこともありました。ですが、G-RAID SHUTTLE 4に移行してからは、こうした悩みはすっかりなくなりました。今、最大7台をデスクに並べて同時に使っていますが、どれもとても静かで、意識することなく作業に集中できています。

ストレージに求めているのは安心感。
長年の使用実績と信頼で選びました

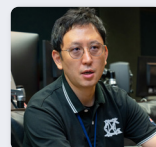
—— ストレージ導入の際、重視することは何でしょうか。

小部様：実に基本的なことですが、まずデータを確実に保存できること。生産性という観点からは読み書きのスピードも重要ですね。G-RAID SHUTTLE 4は内蔵ディスク4台でRAID 5を構築していますが、非常に高速です。素材の保管だけでなく、カラーグレーディング、納品用マスターファイルの保存など、様々な用途で使用しますが、いずれも高速に読み書きでき、まったくストレスがありません。

酒井様：スピードはもちろん大事ですが、いかに安定しているかということも重要です。不安定で何が起るかわからないような環境では、作業のスケジュールを見積もることができません。その点、G-RAID SHUTTLE 4は安定感が抜群で助かっています。

小部様：実は当社では約10年前からG-RAIDシリーズを使用してきましたが、これまで一度もトラブルが起きたことはなく、信頼性の観点からは別格の存在といえます。また、過酷な環境で使用しているので、保証期間が5年間と長い点でも安心感があります。費用対効果など様々な面を含めて総合的に判断しても、今回、十分満足いく導入になったと思っています。

取材にご協力いただいたご担当者様

株式会社IMAGICA Lab.
TVプロダクション事業部
映像制作部
赤坂・渋谷EDグループ エディター

小部 昌史 様

株式会社IMAGICA Lab.
TVプロダクション事業部
映像制作部
赤坂・渋谷EDグループ カラリスト

酒井 有希 様

CLIENT DATA

導入企業 / 株式会社IMAGICA Lab.
所在地 / 東京都品川区
設立 / 2021年(創立:1935年)